

学位論文審査基準

理工学研究科

専攻名	学位論文審査基準
システム数理専攻 ソフトウェア工学専攻 機械電子制御工学専攻 (博士後期課程)	<p>[博士論文]</p> <p>博士論文は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を証示するに足るものをもって合格とする。その判断基準は以下のとおりである。</p> <p>1. 博士論文に要求される内容と水準</p> <p>(1) 研究テーマが専攻分野との関連で適切なものであり、学術的、産業的意義を有している。</p> <p>(2) 新規性、独創性が認められる。</p> <p>(3) 理論的または実証的研究の十分な成果を含んでいる。</p> <p>(4) 先行研究が適切に参照され、研究の位置付けが明確である。</p> <p>(5) 論文の体系的性（全体としての主題を有すること）が認められる。</p> <p>(6) 専攻分野の高度の研究能力または業務遂行に必要な専門性を示している。</p> <p>2. 博士論文に要求されるその他の要件</p> <p>(1) 査読付きの学術論文2編以上が学術論文誌、学術会議の論文集に掲載済み、あるいは掲載予定であること。ただし、少なくとも1編は学術論文誌への掲載であること。</p> <p>(2) 国際会議での研究発表の経験があること。ただし、(1)の少なくとも1編が英文（または日本語以外の言語）での記述である場合はこれを課さない。</p> <p>(3) 少なくとも1編以上の学術論文が博士課程での研究成果をまとめたものであること（課程博士の場合）。</p>